

Ⅲ 地域保健課の業務概要

地域保健課は、生涯にわたる健康づくりを推進するため、管内4市や関係機関と連携し、母子保健事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業、精神保健福祉事業、肝炎治療特別促進事業、難病対策事業等を専門的・広域的に取り組んでいる。

1 保健師関係指導事業

保健師活動の実績や計画の取りまとめや調整、管内および所内の保健師の研修会や連絡会議等を開催し、保健師活動の推進及び資質の向上を図った。

(1) 管内概況

管内保健師の就業数は横ばい傾向である。配置状況は、「保健衛生」部門が最も多く、「その他」の多くは「国民健康保険」部門の配置である。

表1－(1) 管内保健師就業状況(平成31年4月1日現在)

(単位：人)

区 分 年 度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
平成 29 年度	84	11	53	5	10	5
平成 30 年度	87	12	48	7	9	11
平成 31 年度	87	10	58	5	8	6
木更津市	24	—	21	2	0	1
君津市	21	—	14	2	2	3
富津市	15	—	13	0	1	1
袖ヶ浦市	17	—	10	1	5	1

(2) 保健所保健師活動

保健所保健師は結核、感染症、精神障害、難病等の個別保健指導を行うとともに、各市や関係機関と連携を図りながら専門的・広域的な活動を展開した。

表1－(2) 家庭訪問等個別指導状況（平成31年3月31日現在）

(単位：件)

種別	区分		訪問以外の保健指導				個別の連携 ・連絡調整
	家庭訪問		面接		電話	メール	
	実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数(再掲：会議)
総数	96	212	233	325	1377	59	137(44)
感染症	15	15	2	2	12	—	—
結核	40	138	22	30	172	—	66(44)
精神障害	16	24	14	58	195	25	17(—)
長期療養児	3	3	43	62	16	1	3(—)
難病	22	32	151	172	40	—	46(—)
生活習慣病	—	—	—	—	—	—	—
その他の疾病	—	—	—	—	9	—	—
妊産婦	—	—	—	—	2	—	5(—)
低出生体重児 (未熟児)	—	—	—	—	—	—	—
乳幼児	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	1	1	931	33	—
訪問延世帯数	96	212					

(3) 保健師関係研修（研究）会実施状況

地域保健課、疾病対策課、総務企画課に配置されている保健師の活動の調整や管内保健師業務連絡研究会等を開催し、保健師活動の推進及び資質の向上を図った。

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1－(3)－ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員
令和元年 5月27日	今年度の計画	1 所属における事業報告及び今年度重点計画について 2 情報交換	25人
令和元年 10月2日	成人保健	講演「糖尿病診療におけるコーチングの有用性」 講師 千葉大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 助教 横尾英孝氏	24人
令和元年 12月24日	母子保健	講演 「精神疾患を持つ母親の子育てと子どもの発達について」 講師 千葉県精神保健福祉センター 次長 石川真紀氏 グループワーク 助言者：千葉県精神保健福祉センター 石川真紀氏 君津健康福祉センター 精神保健福祉相談員	24人

イ 所内保健師研究会

表1－(3)－イ 所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
平成31年 4月25日	1 各課事業計画について 2 保健師現任教育について	8人
令和元年 5月20日	1 地域保健課及び疾病対策課今年度計画について 2 管内保健師業務連絡研究会、保健所保健師ブロック研修会のテーマ等について 3 新任期保健師の現任教育について	9人
6月20日	1 個別事例検討について 2 日本看護協会の職能集会の報告	8人
11月6日	1 保健師業務集録の検討 2 保健師現任教育（中間評価）	10人
12月4日	1 保健師業務集録の検討 2 事業評価、次年度計画の実施について	9人
令和2年 1月22日	1 令和元年度事業評価及び令和2年度事業計画の検討	10人
3月13日	1 令和元年度事業評価及び令和2年度事業計画の検討 2 現認教育（新任期の最終評価）	10人

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表1－(3)－ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和元年 12月23日	講演 「保健師活動におけるポジティブ心理学の可能性」 ～自分のキャリアを考え、後輩育成に活用する～ 講師 東京医療保健大学 保健学部看護学科 准教授 秋山 美紀 氏	14人

(4) 管内看護管理者研修会

表1－(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和2年 1月28日	1 台風15号における管内の被害状況の概況について 2 台風15号における各機関の活動状況について ～アンケート結果から～ 3 在宅人工呼吸器装着者の個別支援計画(案)紹介 4 グループワーク	38人

2 母子保健事業

母子保健推進協議会や母子保健従事者研修会を通して、管内の母子保健の推進を図っている。

思春期保健では、教育、保健関係者とともに中学生を対象にした、命の大切さを育む健康教育に関して検討会、健康教育に取り組み、平成29年度からは管内市を対象を広げて実施している。

また、平成16年度からは不妊相談センターを開設している。

(1) 母子保健推進協議会

広域的な母子保健施策を効果的に推進するため、市・医師会・助産師会・養護教諭会・児童相談所・住民代表等から構成される協議会を開催し、管内の母子保健に関する課題について協議を行う。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の流行により開催中止となった。

表2－(1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
—		新型コロナウイルス感染症流行のため開催せず

(2) 産後ケア連絡調整会議

平成30年度から産後ケア事業が4市すべてで実施された。その進捗状況や課題について、産後ケア連絡調整会議を実施した。

表2－(2) 産後ケア連絡調整会議実施状況

開催年月日	参加者数・職種	主な協議内容
令和元年 8月29日	28人 医師、保健師、助産師等	産後ケア連絡調整会議： 産後ケア事業の実績について 産後ケア事業の課題について
令和元年 11月21日	9人 保健師	産後ケア担当者会議： 産後ケア利用者の情報提供書について その他（産後ケア事業の通知等様式について検討）

(3) 母子保健従事者研修会

母子保健等従事者の資質向上を目指すため、研修会を実施した。

表2- (3) 母子保健従事者研修会実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・ 職種	内 容
第1回 母子保健従事者 研修会	令和元年 8月29日	32人 管内4市及び 保健所の保健 師、助産師 医師、看護師、 助産師、助産師 会助産師	講演「母乳について」 講師 ころろ助産院 吉原幸子 氏
第2回 母子保健従事者 研修会	令和2年 1月20日	31人 管内4市及び 保健所の保健 師、助産師	講演 「産後うつ～EPDSの評価・活用方法」 講師 北里大学看護学部 准教授 新井 陽子 氏

(4) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条により、医師から届出がされた人工妊娠中絶実施報告に基づいた状況は表2- (4) のとおりである。届出数は、減少傾向にある。

表2- (4) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区分 妊娠週数	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度									
			総 数	20 歳 未 満	20 歳 ～ 24	25 歳 ～ 29	30 歳 ～ 34	35 歳 ～ 39	40 歳 ～ 44	45 歳 ～ 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	333	292	279	21	66	50	60	54	22	6	0	0
満7週以前	197	156	148	10	31	28	37	24	14	4	0	0
満8週～満11週	122	122	115	10	29	20	23	23	8	2	0	0
満12週～満15週	8	8	10	0	5	2	0	3	0	0	0	0
満16週～満19週	5	5	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0
満20週～満21週	1	1	3	1	1	0	0	1	0	0	0	0
不 詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 特定不妊治療費助成事業

特定不妊治療（体外受精・顕微授精）の対象者に費用の一部を助成している。

平成28年1月20日より治療開始の者は初回助成額が30万円まで拡大され、男性不妊治療も助成対象となった。平成28年4月1日から新制度が完全施行となり、対象年齢、助成回数が変更となった。

令和元年9月17日から、男性不妊治療の初回助成額が30万円に拡充された。（平成31年4月1日から適用）

ア 特定不妊治療費助成制度事業

表2－(5)－ア 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年 度	実 件 数	延 件 数	延件数内訳			
			体外受精	顕微授精	男性不妊	そ の 他
平成29年度	182	300	93	88	－(2)	119
平成30年度	183	302	82	90	1(1)	129
令和元年度	178	304	70	84	3(1)	147
木更津市	82	131				
君津市	37	62				
富津市	10	18				
袖ヶ浦市	49	93				

※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり、()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の助成件数である。

イ 不妊専門相談センター事業

表2－(5)－イ－(ア) 不妊相談実施状況

年度	回数	相談者数 (専門医)	相談者数 (保健師等)	
			随時	
平成29年度	3	4		6
平成30年度	1	1	随時	4
令和元年度	1	1		3

表2－(5)－イ－(イ) 不妊講演会実施状況

開 催 年 月 日	内 容	対 象	参加者数
—	—	—	—

(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

平成27年1月1日から児童福祉法の改正により同法第19条の2他の規定に基づき小児慢性特定疾病医療費の支給認定の対象となる慢性疾患が14疾患群704疾病に拡大された。疾病数はその後も追加され、平成30年4月から16疾患群756疾病とさらに拡大された。受給者の状況は、過去3年間を比較して、大幅な増減はみられていない。

表2－(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況（各年3月31日現在）

(単位：件)

疾 患 名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市
総 数	194	189	189	77	37	22	53
1 悪 性 新 生 物	28	29	27	7	4	5	11
2 慢 性 腎 疾 患	24	16	14	3	6	1	4
3 慢 性 呼 吸 器 疾 患	8	8	9	4	2	2	1
4 慢 性 心 疾 患	28	27	26	14	2	3	7
5 内 分 泌 疾 患	43	33	34	13	6	6	9
6 膠 原 病	5	6	5	0	2	1	2
7 糖 尿 病	13	15	13	4	3	0	6
8 先 天 性 代 謝 異 常	6	5	6	3	1	0	2
9 血 液 疾 患	2	3	3	2	1	0	0
10 免 疫 疾 患	2	1	1	0	1	0	0
11 神 経 ・ 筋 疾 患	12	14	14	7	1	1	5
12 慢 性 消 化 器 疾 患	19	23	25	13	5	3	4
13 染 色 体 又 は 遺 伝 子 に 変 化 を 伴 う 症 候 群	1	1	4	4	0	0	0
14 皮 膚 疾 患	3	3	3	1	2	0	0
15 骨 系 統 疾 患	-	5	5	2	1	0	2
16 脈 管 系 疾 患	-	0	0	0	0	0	0

(7) 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

児童福祉法第19条の22の規定に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療育を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾患児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行った。また、関係機関との連絡調整や支援のための事業を推進している。

ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表2－(7)－ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

名 称	実施年月日	参加人数・内訳	内 容
療育相談事業	令和元年 11月30日	7名	講演 「潰瘍性大腸炎患者とうまく付き合うために知っておきたいこと」 講師 東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科 教授 松岡 克義 氏 講演 「食事のとり方のポイント」 講師 ほたるのセントラル内科 管理栄養士 江尻 喜三郎 氏

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表2－(7)－イ 療育相談指導内容

(単位：人)

内 容	平成28年度	平成30年度	令和元年度
相 談 者 数 (延)	—	5	7
家 庭 看 護 指 導	—	—	—
食 事 ・ 栄 養 指 導	—	1	1
歯 科 保 健 指 導	—	—	—
福 祉 制 度 の 紹 介	—	—	—
精 神 的 支 援	—	—	1
学 校 と の 連 絡	—	1	—
家 族 会 等 の 紹 介	—	—	—
そ の 他	—	3	5

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2-(7)-ウ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位:件)

疾患名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数	—	8	3
先天性中枢性低換気症候群	—	1	1
気道狭窄症・気管狭窄症	—	2	—
表皮水泡症	—	—	—
ヒルシュスプルング病	—	—	—
ウイスコット・アルドリッチ症候群	—	1	—
ネオリンミオパチー	—	1	—
乳児神経軸索ジストロフィー	—	1	—
カテコラミン誘発多形性寝室頻拍	—	2	—
ソトス症候群	—	—	1
I型糖尿病	—	—	1

エ 窓口相談事業

表2-(7)-エ 相談内容 (単位:人)

内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談者数(延)	4	66	62
申請等	3	62	34
医療	1	—	1
家庭看護	—	3	13
福祉制度	—	—	2
就業	—	—	—
就学	—	—	5
食事・栄養	—	—	2
歯科	—	—	—
その他	—	1	5

オ 訪問相談員派遣事業

表2-(7)-オ 訪問相談員派遣事業実施状況

年度	区分	人数	回数	実人員	延人員
平成29年度		—	—	—	—
		—	—	—	—
		—	—	—	—
平成30年度		—	—	—	—
令和元年度		—	—	—	—

(8) 療育の給付制度

結核治療のために指定医療機関で入院した18歳未満の方を対象に、療養生活に必要な日用品等の費用を所得に応じて一部負担する制度。今年度の申請はなかった。

(9) 思春期保健相談事業

思春期保健事業として助産師による中学生の性に関する健康教育に取り組んだ。また、思春期の子供の健全な発育と発達を目指し、思春期相談として臨床心理士並びに保健師による個別相談を実施した。

表2-(9)-ア 思春期保健関係者会議実施状況

名 称	開 催 年 月 日	参加者数・職種	内 容
—	—	—	—

表2-(9)-イ 思春期保健事業講演会

名 称	開 催 年 月 日	対象者・参加者数	内 容
思春期保健事業	令和元年 6月18日	中学校全校生徒 280人 保護者 3人 生徒・教員・保護者	講演 「生と性～命について考える～」 講師 MIDWIFE MOMOKO助産院 安達 桃子 氏
思春期保健事業	令和元年 6月20日	中学3年生 38人 生徒・教員・市保健師	講演 「大切な思春期のころと体」 講師 こころ助産院 吉原 幸子 氏
思春期保健事業	令和元年 6月28日	中学1年生 74人 生徒・教員・市保健師	講演 「大切な思春期のころと体」 講師 こころ助産院 吉原 幸子 氏 講演 たばこの害について 講師 君津健康福祉センター地域保健課保健師
思春期保健事業	令和元年 11月5日	中学3年生 150人 生徒・教員 市保健師等	講演 「生と性～命について考える～」 講師 MIDWIFE MOMOKO助産院 安達 桃子 氏
思春期保健事業	令和元年 11月14日	中学3年生 126人 生徒・教員等	講演 「大切な思春期のころと体」 講師 こころ助産院 吉原 幸子 氏

表2－(9)－ウ 思春期相談

(単位：人)

年度	区分	回数	指導数		内 容
			実 数	延 数	
平成29年度		12	7	22	臨床心理士による相談
平成30年度		12	9	8	
令和元年度		9	9	13	

(10) 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等について
旧優生保護法に基づき優生手術などを受けた方に支給される一時金に関する請求の受付及び相談に応じている。

表2－(10) 管内居住者からの相談及び請求受付（センター受付分）

年度	区分	請求件数	相談件数（延べ）		
			電話等相談	来所相談	計
令和元年度		0	1	0	1

(11) その他会議や連絡会等

君津中央病院、管内各市、君津健康福祉センター、市原市、市原健康福祉センターが参加し事例検討も含めた連絡会議を年3回開催した。

表2－(11) NICU連絡会議

連絡会議 の名称	開催年月日	参加者数・職種	内容
NICU 連絡会議	令和元年 6月 24日	17人 医師・看護師・市保健師・保健所保健師	(1) 1歳児の状況
	令和元年 11月 11日	25人 医師・看護師・市保健師・保健所保健師	(2) 新生児外来フォローアップで気になる症例
	令和2年 2月 10日	22人 医師・看護師・市保健師・保健所保健師	(3) 事例検討 (4) その他

3 成人・老人保健事業

介護老人保健施設に対し、サービスの質の確保、入所者の尊厳の保持、高齢者虐待防止法の趣旨を踏まえ、看護及び栄養面等の実地指導を行った。

(1) 介護サービス施設・事業所設置状況

管内には、介護老人保健施設10施設・訪問看護ステーション19施設がある。

(地域資料編に記載のとおり)

ア 介護老人保健施設実地指導

千葉県老人保健施設実地指導要綱に基づき、3施設について実地指導を行った。

表3- (1) -ア 介護老人保健施設実地指導状況

実施年月日	介護老人保健施設
令和元年11月15日	ケアセンターきさらづ
令和元年12月19日	きよらの樹ケアセンター
令和2年1月16日	カトレアンホーム

(2) がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等(以下「推進員等」という。)に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図る。

表3- (2) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
—	—	令和元年度は担当保健所でないため実施なし

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じた確かな自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的に事業を実施した。

(1) 健康教育事業

高齢化が進む中で、地域住民の健康づくりのための活動を行う推進員等に、認知症予防について知識を得てもらい、地域住民および自身の健康づくりに役立ててもらうことを目的に、がん検診推進員育成講習会の機会を活用し、事業を実施した。

表4－(1) 健康教育事業

開催年月日	健康教室	参加人員
－	－	－

(2) 健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象に、保健師等が電話相談に応じた。

表4－(2) 健康相談実施状況（電話）

(単位：件)

年度	区分		
	男	女	総数
平成29年度	16	50	66
平成30年度	15	34	49
令和元年度	16	11	27

5 総合的な自殺対策推進事業

(1) 住民向け講演会・相談対象者向け研修会

表5－(1) 研修会の実施状況

名 称	実施年月日	参加者数・職種	内 容
—	—	—	—

(2) その他の会議等

表5－(2) 会議等の開催状況

名 称	実施年月日	参加者	内 容
—	—	—	—

(3) その他の事業

実施なし

6 地域・職域連携推進事業

生涯を通じた継続的な健康管理を支援することを目的に、地域保健と職域保健が連携し、地域の課題である「総合的なたばこ対策」について平成26年度から3か年で取り組んだ。その結果、さらなる事業の推進が必要であるため、平成29年度から4か年計画で第2次「総合的なたばこ対策」に取り組むこととし、協議会において協議し、共同事業を実施した。

表6－(1) 君津地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令和元年10月24日	23人	1 これまでの取組みと令和元年度実績報告 2 健康増進法の一部改正について 3 次年度の活動方針について

表6－(2) 君津地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
-	-	-

表6－(3) 共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
1 講演会 ①令和元年6月28日 ②令和元年7月26日・7月29日・ 8月9日・9月4日・10月1日・ 10月3日・10月24日・11月26 日・12月9日 ③平成31年4月24日・令和元年 7月24日・10月9日・令和2年 2月19日	①対象：中学生 参加人数：74人 内容：喫煙の害について説明 ②対象：住民、関係者 参加人数：計448人 内容：健康増進法の一部を改正する法律に関する説明 ③対象：新規飲食店営業者 参加人数：計72人 内容：健康増進法の一部を改正する法律に関する説明及び受動喫煙防 止対策協力推進施設の登録推進のための普及・啓発活動。
2 啓発活動 令和元年6月16日 9月29日	対象：住民 参加人数：計202人 内容：たばこに関する知識クイズ、リーフレット配付等
3 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止対策推進協力施設登録推進のための普及・啓発活動 ・がん検診案内作成、配布 ・調査 事業所の受動喫煙防止対策実施状況 病院における防煙教育実施状況・受動喫煙防止対策実施状況 管内医療機関における禁煙外来実施状況 学校における防煙教育実施状況

7 栄養改善事業

広域的・専門的な知識と技術を活かした栄養指導を実施するとともに、給食施設従事者・栄養関係団体に対して研修会を開催し、健康づくりの支援と取り組み強化を図った。

また、地域における栄養改善事業を効果的に推進するため、管内行政栄養士業務検討会を開催し、管内4市との連携体制づくりに努めた。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

住民の生活習慣病予防及び健康づくりのために、地域における健康づくり推進事業として研修会を開催し、正しい知識の普及・啓発に努めた。

病態栄養教室としては、潰瘍性大腸炎の患者及び家族を対象に、食事療法の考え方、緩解期を長く保つための食事について講演をし、よりよい療養生活を送ることができるよう支援した。

表7－（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況（単位：人）

		個別指導延人員							集団指導延人員							
		栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	(再掲)訪問による栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦															
	乳幼児	2														
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)	6								7	7	0	0			
	20歳以上 (妊産婦を除く)	37	5							877	32	0	0			
(再掲)医療機関等へ委託	妊産婦															
	乳幼児															
	20歳未満 (妊産婦・乳幼児を除く)															
	20歳以上 (妊産婦を除く)															

参照（地域保健・健康増進事業報告作成要領）

ア 病態別個別指導

表7- (1) -ア 病態別個別指導状況 (単位：人)

種別	区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導		5	3	2	-	-	-
病態別運動指導		-	-	-	-	-	-

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表7- (1) -イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
潰瘍性大腸炎の患者と家族のつどい	令和元年 11月30日	潰瘍性大腸炎の患者とその家族	39人	講演 「潰瘍性大腸炎の食事のとり方のポイント」 講師 ほたるのセントラルクリニック 管理栄養士 江尻喜三郎氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表7- (1) -ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
地域における健康づくり研修会	令和2年 2月3日	管内給食施設給食管理者・給食担当者・栄養士・調理従事者、管内食生活改善協議会会員、管内栄養士協議会会員、木更津調理師会会員、木更津食品衛生協会会員、4市商工会・商工会議所会員、各市健康づくり担当課職員等	81人	講演 「スポーツ栄養学を生かした食育実践～スポーツ選手の事例に学ぶ、働き盛りのビジネスパーソンの食育～」 講師 株式会社食STORY 代表取締役 米倉れい子氏

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表7- (1) -エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	君津市藤林地区 (19世帯62人)	栄養摂取状況調査・生活習慣調査・身体状況調査

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表7- (1) -オ- (ア) 食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談 (個別)		普及啓発 (集団)		
		実相談 食品数	延相談 件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		- ()	- ()	- ()	- ()	-
食品表示基 準について (保健事 項)	栄養成分	61	66	2	46	講習会等
	特定保健用食品	-	-	-	-	-
	栄養機能食品	-	-	-	-	-
	機能性表示食品	-	-	-	-	-
	その他※			-	-	-
健康増進法第65条第1項 (虚偽誇大広告)		8	8	-	-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-	-	-	-
		県民への相談対応・普及啓発				
		相談 (個別)		普及啓発 (集団)		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)	
特別用途食品及び特定保健用食品について		- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
食品表示基 準について (保健事 項)	栄養成分	-	-	3	211	講習会等
	特定保健用食品	-	-	-	-	-
	栄養機能食品	-	-	-	-	-
	機能性表示食品	-	-	-	-	-
	その他※	-	-	-	-	-
健康増進法第65条第1項 (虚偽誇大広告)		-	-	-	-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-	-	-	-

() 内は、特定保健用食品再掲

※ 栄養成分以外の内容だった場合(特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く)

表7- (1) -オ- (イ) 食品表示等に関する指導状況 (表示違反への対応)

		指導状況 (個別)	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について (保健事項)	栄養成分※	3(-)	12(-)
	機能性表示食品	-	-
	-	-	-
健康増進法第65条第1項 (虚偽誇大広告)		-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む () 内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(ウ) 特別用途食品許可取り扱い件数(単位:件)

内 容	取扱件数
新規許可申請受付	－ (－)
消滅事由該当届出数	－ (－)
申請・表示事項変更届出数	－ (－)

() 内は、特定保健用食品再掲

表7－(1)－オ－(エ) 特別用途食品に対する検査・指導件数(単位:件)

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
－ (－)	－ (－)	－ (－)

() 内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7－(1)－カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
－	－	－	－	－

(2) 給食施設指導

管内給食施設 191 施設に対し、より良い給食の提供を目的に栄養管理及び衛生管理について栄養指導員と食品衛生監視員で個別巡回指導を行った。

また、給食施設管理者及び従事者を対象に、栄養管理及び衛生管理に関する研修会を開催し、給食運営の充実を図った。

管内給食施設の 98%で栄養成分表示を実施し、利用者に健康や栄養に関する情報提供を行った。

給食施設状況

表7- (2) 給食施設状況 (単位: 件)

施設 総数	管理栄養士 のみ いる施設		管理栄養士 栄養士どちらも いる施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士 栄養士 どちらも いない施設	管理栄養士 必置指定 施設		栄養 成分 表示 施設	栄養 教育 実施 施設
	施 設 数	管理 栄養 士数	施 設 数	管理 栄養 士数	栄 養 士 数	施 設 数	栄 養 士 数		施 設 数	管理 栄養 士数		
191	40	44	47	93	62	53	67	51	4	17	187	135

ア 給食施設指導状況

表7- (2) -ア 給食施設指導状況 (単位: 件)

区 分		計	特定給食施設		その他の 給食施設	
			1回300食 以上 又は 1日750食 以上	1回100食 以上 又は 1日250食 以上		
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	115	12	73	30
		その他指導施設数	223	38	139	46
	喫食者への栄養・運動指導延人員		—	—	—	—
集団指導	給食管理指導	回 数	7	7	7	7
		延 施 設 数	319	34	199	86
	喫食者への 栄養運動指導	回 数	—	—	—	—
		延 人 員	—	—	—	—

イ 給食施設個別巡回指導

表7- (2) -イ 給食施設個別巡回指導状況

	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況								
			管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもある施設		栄養士のみ いる施設		どちらもない 施設		
			施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	
合計	191	115	40	21	47	32	53	22	61	40	
指定施設①	計	4	4			4	4				
	学校										
	病院	3	3			3	3				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設	1	1			1	1				
	事業所										
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他										
300食/回, 750食/日以上 (指定施設を除く)②	計	27	8	11	3	6	3	8	1	2	1
	学校	15	2	5		4	1	6	1		
	病院	1	1			1	1				
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所	7	2	4	1	1	1	1		1	
	寄宿舎	2	1	1	1			1			
	矯正施設										
	自衛隊	1	1	1	1						
	一般給食センター										
	その他	1	1							1	1
100食/回, 250食/日以上 (①, ②除く)	計	105	73	19	14	29	20	27	15	30	24
	学校	10	4	3	2			3		4	2
	病院	9	9			9	9				
	介護老人保健施設	9	6	2	2	7	4				
	老人福祉施設	17	10	6	4	10	6	1			
	児童福祉施設	37	31	8	6	1	1	14	11	14	13
	社会福祉施設	4				2		2			
	事業所	6	3					1		5	3
	寄宿舎	9	7					3	2	6	5
	矯正施設										
	自衛隊	1						1			
	一般給食センター										
	その他	3	3					2	2	1	1
その他の給食施設	計	55	30	10	4	8	5	18	6	19	15
	学校	1						1			
	病院	6	6	1	1	4	4	1	1		
	介護老人保健施設										
	老人福祉施設	10	3	2	1	3	1	5	1		
	児童福祉施設	19	12	2	2			8	1	9	9
	社会福祉施設	6	1	3		1		1	1	1	1
	事業所	3	1							3	1
	寄宿舎	6	5	1				1	1	4	4
	矯正施設										
	自衛隊	1		1							
	一般給食センター	1	1					1	1		
	その他	2	1							2	1

※施設に出向き個別指導した施設数を記入する。

※管理栄養士・栄養士配置施設の記入については、「衛生行政報告例記入要領」を参照すること。

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7-（2）-ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	8	10	57
指導数	8	10	57

エ 給食施設集団指導

表7-（2）-エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
給食施設管理者・ 従事者研修会	令和元年 6月11日 6月14日	管理者、管理栄養士・栄養士・調理従事者等	171人	講話「給食施設における衛生管理」 講師 君津健康福祉センター 食品機動監視課 食品衛生監視員 説明「平成30年度栄養管理状況報告書の結果―食塩を中心に―」等 君津健康福祉センター 地域保健課 栄養指導員
給食施設管理者 研修会	令和元年 10月1日	管理者、管理栄養士、栄養士、 その他給食関係者	91人	講演及びグループワーク 「給食施設からの健康づくりの推進 ～行動経済学からのアプローチ～」 講師 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授 研究科長 福田 吉治 氏
君津保健所管内 保育所（園）・ 幼稚園栄養業務 連絡会	令和元年 ①5月31日 ②8月9日 ③11月1日 令和2年 ④2月7日	保育所（園）・ 幼稚園栄養業務 担当者	102人	①業務検討・情報交換 個別指導に関すること（肥満児へのアプローチの仕方を中心に） ②ミニ講話 「食品衛生の基礎」 業務検討・情報交換 保育士など他職種へ食品衛生について、 どのように伝えているか など ③業務検討・情報交換 ・食物アレルギー用レシピの交換 ・代替え食の状況などについて情報 交換 など ④業務検討・情報交換 食育の実施状況について ・各園の保育士との連携について ・箸の教え方について

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7- (3) -ア 健康ちば協力店登録状況

令和元年度登録件数			累計状況	
登録件数	変更件数	取消件数	登録累計数	実登録店舗数
-	-	-	131件 (内取消31件)	100件

表7- (3) -イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区 分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回 数	延人員	回 数	延店舗数	延人員	回 数	延人員
個別指導	-	-	-	-	-	-	-
集団指導	-	-	-	-	-	2回	6人
合 計	-	-	-	-	-	2回	6人

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7- (4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名 称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
君津保健所管内食生活改善協議会	147人	研修会の開催	1 研修会の開催への支援 2 役員会の開催への支援 3 総会の開催への支援	145人
君津保健所管内栄養士協議会	159人	1 木更津市生涯学習フェスティバルでの栄養改善・健康増進に関する知識の普及啓発及び栄養相談等 2 研修会の開催	1 研修会の開催への支援 2 役員会の開催への支援 3 総会の開催への支援 4 木更津市生涯学習フェスティバル参加への助言	414人

(5) 市町村への技術・助言支援等

表7- (5) -ア 市町村への技術支援、助言

名 称	開催月日	対象者	参加者数	内 容
木更津市健康づくり推進協議会	令和元年 7月25日	木更津市	18人	1 健康づくり推進協議会について 2 木更津市の健康課題について 3 第3次健康ささらづ21計画概要について 4 取り組み内容及び達成状況について
君津市健康づくり推進協議会	令和元年 8月22日	君津市	16人	1 「第2次健康さみづ21」中間報告及び計画改定(素案)に係るまちづくり意見公募手続きの実施結果について 2 「第2次健康さみづ21」平成30年度実績報告及び令和元年度計画について 3 その他
富津市健康づくり推進協議会	令和元年 7月31日	富津市	12人	1 平成30年度事業実績について 2 令和元年度事業について
袖ヶ浦市健康づくり推進協議会	令和元年 6月19日 12月12日 3月26日	袖ヶ浦市	16人 16人 (書面開催)	1 自殺対策計画について 2 袖ヶ浦健康プラン21の中間評価について 3 受動喫煙対策について 4 その他

表7- (5) -イ 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
君津保健所管内行政栄養士業務検討会	3回	36人	業務検討 ・母子保健事業について ・災害時における行政栄養士の栄養・食生活支援活動の在り方について ・保健指導(若年、特定健診、高齢者)の実際について ・各市健康増進計画の中間評価の状況について ・台風15号・19号における災害対応について

(6) 調理師試験及び免許関係

表7- (6) 調理師試験及び免許取扱状況 (単位:人)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成29年度	68	49	72.1	73	19	28
平成30年度	73	39	53.4	49	19	32
令和元年度	68	46	67.6	55	12	13

(7) その他(各保健所の独自事業) なし

8 歯科保健事業

難病及び障害のある方等に対して、歯・口腔の健康を維持し、嚙む飲み込むことの支援をすることを目的に講演会等を実施する。

(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表8- (1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名 称	対象者	開催月日	内容	参加人員
—	—	—	—	—

(2) その他（各保健所の独自事業）

表8- (2) その他（各保健所の独自事業）

名 称	対象者	開催月日	内容	参加人員
—	—	—	—	—

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

(1) 管内精神科病院と入院等の状況

県内では比較的精神科病床の少ない地域だが、入院患者の7割強が管内精神科病院へ入院している。

表9－(1)－ア 管内病床数・入院患者の状況（令和元年6月30日現在）

(単位:件)

区分 年度	管内人口	精神科病院数	病床数	人口万対病床数	県内病院への入院患者数	人口万対入院患者数	管内の患者の入院先（再掲）					
							圏内の病院への入院患者数				圏外の病院への入院患者数	
							管内病院		管外病院			
							数	%	数	%	数	%
平成29年度	325,628	2	587	18.0	507	15.6	412	81.3	-	-	95	18.7
平成30年度	325,352	2	587	18.0	483	14.8	393	81.4	-	-	90	18.6
令和元年度	324,561	2	587	18.0	521	16.1	386	74.1	-	-	135	25.9
木更津市	135,651	1	369	27.2	174	12.8	155	89.1	-	-	19	10.9
君津市	82,832	-	-	-	103	12.4	84	81.6	-	-	19	18.4
富津市	43,337	-	-	-	149	34.4	72	48.3	-	-	77	51.7
袖ヶ浦市	62,741	1	218	34.7	95	15.1	75	78.9	-	-	20	21.1
県全体	6,277,952	52	12,363	19.7	8514	13.6	5307	62.3	-	-	2253	26.5

(注) 1 人口は、各年7月1日現在。(千葉県毎月常住人口調査による)

表9－(1)－イ 管内病院からの届出等の状況 (単位：件)

種別 年度	医療保護入院届(家族等の同意)	応急入院届	医療保護入院届の退院届	措置症状消退届	措置入院定期病状報告書	医療保護入院定期病状報告	その他
平成29年度	615	5	511	13	11	176	0
平成30年度	611	4	596	21	9	165	5
令和元年度	557	4	543	18	7	172	0

※ その他は、転院許可申請(5)件、仮退院申請(0)件、再入院届(0)件の合計

(2) 措置入院関係

各申請・届出・通報を受理した際は、精神保健指定医や指定病院、警察署等の協力を得て、迅速な対応に努めた。措置診察の必要がないと認めた者についても、必要に応じて受療援助等の支援を行った。

表9－(2)－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況 (単位：件)

申請通報等の別	申請・通報届出件数	診察の必要がないと認めた者	法第27条の診察を受けた者			法第29条の2の診察を受けた者			法第29条の2の2の移送業務		
			法第29条該当症状の者	その他の入院形態	通院・その他	法第29条の2該当症状の者	その他の入院形態	通院・その他	1次移送	2次移送	3次移送
平成29年度	51	30	13	0	2	4	0	2	0	0	3
平成30年度	32	19	14	0	0	6	0	0	0	0	3
令和元年度	21	10	10	0	1	4	0	0	0	0	2
法第22条一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条警察官からの通報	8	0	8	0	0	4	0	0	0	0	2
法第24条検察官からの通報	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0
法第25条保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条矯正施設の長からの通報	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3医療観察法に基づく指定医療機関管理者及び保護観察所長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項申請通報に基づかない診察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第29条の2該当症状の者」は、法第27条の診察を受けた者の内数

3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

表9－(2)－イ 措置診察を受けた対象者の病名 (単位：件)

病名 年度 結果	総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ ィ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他	
				認 知 症	そ の 他	ア ル コ ー ル	覚 せ い 剤	そ の 他							
				F0		F1									
				F2	F3	F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10							F15
平成29年度	15	9	3	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	
平成30年度	14	8	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
令和元年度	11	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
診察 実施	要措置	10	8	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	措置不要	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ※1 緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者 0名
- 2 緊急措置入院中に措置解除となった者 0名
- 3 その他には病名不詳を含む。
- 4 F0～F9、G40 は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表9－(2)－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（各年3月31日現在）（単位：人）

入院期間 年度	総 数	6カ月未満	6カ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
平成29年度	7	2	0	1	4
平成30年度	6	2	0	0	4
令和元年度	3	2	0	0	1

表9－(2)－エ 申請・通報・届出関係の相談等（各年3月31日現在）（単位：人）

性・年齢 区分	実 数	性			年 齢					延 回 数
		男	女	不 明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不 明	
相談	11	8	3	0	1	4	5	1	0	27
訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話	21	16	5	0	2	1	7	0	0	213

(3) 医療保護入院のための移送 (法 34 条)

平成 11 年の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の改正により規定されたが、当管内での事例はない。

表 9 - (3) 医療保護入院のための移送処理状況 (単位: 件)

年度 \ 区分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
平成 29 年度	—	—	—
平成 30 年度	—	—	—
令和元年度	—	—	—

(4) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

嘱託医相談は定例で月 2 回実施、電話・来所相談は随時対応した。事例に応じて受療援助を行うなどの支援を実施した。

表 9 - (4) - ア 精神科嘱託医による定例相談

実施日	時間	場所
毎月 第 1 木曜日	14 : 00 ~ 16 : 00	健康福祉センター
毎月 第 4 月曜日	13 : 00 ~ 15 : 00	

表 9 - (4) - イ 対象者の性・年齢 (単位: 人)

性・年齢 \ 区分	実数	性			年齢					延回数
		男	女	不明	20 歳未満	39 歳 ~ 20 歳	64 歳 ~ 40 歳	65 歳以上	不明	
平成 29 年度	55	38	17	0	10	10	23	11	1	323
平成 30 年度	52	33	19	0	0	17	27	6	2	308
令和元年度	139	88	50	1	3	30	78	23	5	343
木更津市	59	37	22	0	0	6	41	11	1	115
君津市	34	23	11	0	1	14	14	4	1	84
富津市	13	9	4	0	0	3	6	4	0	61
袖ヶ浦市	23	12	11	0	1	4	15	3	0	71
管外・不明	10	7	2	1	1	3	2	1	3	13
相談	81	47	33	1	1	16	43	16	5	179
訪問	58	41	17	0	2	14	35	7	0	165

※ 1 同一人により相談を 3 回・訪問を 2 回した場合、相談実数 1、訪問実数 1、計 2 となり、延回数は 5 回となる。

2 電話相談は計上していない。

表9－(4)－ウ 電話・メール相談延件数 (単位：件)

	計	男	女	不明
電話	1,697	1,127	562	8
メール	0	0	0	0

表9－(4)－エ 相談の種別 (延数) (単位：件)

種別	区分	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談
			関診する療科	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚せい剤	その他の中毒							
	平成29年度	324	157	32	98	22	0	0	1	0	0	3	3	4	1	3
	平成30年度	308	138	11	70	59	9	0	0	0	0	10	1	5	0	5
	令和元年度	343	172	40	35	63	11	4	2	0	0	6	0	4	6	0
相談	計	178	58	13	29	51	9	3	2	0	0	6	0	2	5	0
	男	111	31	6	25	32	4	3	2	0	0	2	0	1	5	0
	女	67	27	7	4	19	5	0	0	0	0	4	0	1	0	0
訪問	計	165	114	27	6	13	2	1	0	0	0	0	0	2	1	0
	男	101	70	19	4	3	2	1	0	0	0	0	0	2	1	0
	女	64	44	8	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表9－(4)－オ 援助の内容 (延数) (単位：件)

種別	総数	医学的指導	受療援助	生活支援・生活指導	社会復帰援助	照会・連絡	関係機関調整・方針協議	その他
平成29年度	349	6	94	94	19	18	102	16
平成30年度	573	15	92	129	13	137	172	15
令和元年度	682	7	142	55	53	156	179	90

(注) 援助内容は重複あり

表9－(4)－カ 精神障害者の退院後支援相談対応件数

	支援計画対象者	支援計画に基づく支援者		
		本人同意あり	会議開催数	計画に基づく支援者
合 計	2	2	1	1
木更津市	1	1	0 ※	0 ※
君津市	0	0	0	0
富津市	1	1	1	1
袖ヶ浦市	0	0	0	0

※令和2年度に会議を開催し、計画に基づく支援を開始予定。

(5) 精神障害者社会復帰関係

平成27年度に社会復帰支援事業（ダイケアクラブ）を終了し、平成28・29年度はフォローアップを兼ねた同窓会を実施した。平成30年度からは個別支援で対応していくこととして、ダイケアクラブの活動は実施しなかった。

表9－(5)－ア ダイケアクラブ

実施日	開催時間	内容
—	—	—

表9－(5)－イ ダイケアクラブの活動状況 (単位：人)

区分 年度	開催 回数	参加者					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成29年度	2	7	4	3	10	4	6
平成30年度	—	—	—	—	—	—	—
令和元年度	—	—	—	—	—	—	—

表9－(5)－ウ 当事者支援の実施状況 (単位：人)

区分 年度	開催 回数	参加者					
		実人員			延人員		
		計	男	女	計	男	女
平成29年度	—	—	—	—	—	—	—
平成30年度	—	—	—	—	—	—	—
令和元年度	—	—	—	—	—	—	—

(6) 地域精神保健福祉関係

管内関係機関との連携強化のため、連絡会議を実施した。

また、酒害相談事業（断酒学級）を定期開催した。

表9－(6)－ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数	対象者等
「地域で心の病を支える 家族の集まり」つくし会 講演会	5月8日	25人	内容:具合が悪くなった時の相談窓口 ～保健所の対応～
「『措置入院の運用に関 するガイドライン』に係る 千葉県マニュアル」 についての説明会	5月29日	12人	対象:管内警察署員・千葉県警察本部員
袖ヶ浦市総合相談員 研修会	2月10日	30人	内容:精神障害者の相談事例をもとに相談時 の応対方法を学ぶ

表9－(6)－イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等 の名称	開催日	受講者数		内容
		実件数	延件数	
断酒学級	毎月第1火曜日	22	64	ミーティング

表9－(6)－ウ 組織育成 (単位:件)

種別 区分	総数	家族会	断酒会	その他
支援件数	8	8	—	—

(7) 心神喪失者等医療観察法関係

心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の対象者に対し、保護観察所が主催する処遇検討会議へ出席し、地域における支援について協議を行った。

表9－(7) 医療観察法に係る会議への参加 (単位:件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	1	4	—

- ・平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、健康福祉センター（保健所）においても各種会議への参加等が求められている。
- ・「その他」は、CPA会議(Care Programme Approachの略)とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療、平成23年度からインターフェロン3剤併用療法への医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。

表10－(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
平成29年度	185	-	163
平成30年度	191	-	97
令和元年度	175	-	80
木更津市	69	-	25
君津市	60	-	20
富津市	19	-	21
袖ヶ浦市	27	-	14

11 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続き業務を行っている。

表11－(1) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 肝がん	重度肝硬変	総数
平成29年度	-	-	-
平成30年度	-	-	-
令和元年度	1	-	1
木更津市	-	-	-
君津市	1	-	1
富津市	-	-	-
袖ヶ浦市	-	-	-

1 2 難病対策事業

原因不明で治療方法が確立していない特定疾患（56 疾患）の患者に対し、医療費助成していたが、平成 27 年 1 月 1 日に「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）が施行され、厚生労働大臣の定める疾病に拡大された。

令和 2 年 3 月 31 日時点で 333 疾病が指定になっている。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表 1 2 - (1) 特定疾患治療研究費受給者状況 (単位：件)

年 度・市町村別 疾 患 名 下段：重症(内数)	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	木 更 津 市	君 津 市	富 津 市	袖 ヶ 浦 市
総 数	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-

表 1 2 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況 (単位：件)

年 度・市 別 疾 患 名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 元 年度	木 更 津 市	君 津 市	富 津 市	袖 ヶ 浦 市
総 数	2209	2161	2235	862	636	348	389
2 筋萎縮性側索硬化症	24	22	18	8	5	2	3
3 脊髄性筋萎縮症	1	1	1	-	-	-	1
5 進行性核上性麻痺	24	24	19	9	8	0	2
6 パーキンソン病	265	280	299	112	80	47	60
7 大脳皮質基底核変性症	5	4	2	1	-	1	-
8 ハンチントン病	5	4	2	1	-	1	-
11 重症筋無力症	56	54	57	25	11	11	10
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	46	45	48	25	11	5	7
14 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／ 多巣性運動ニューロパチー	4	6	6	1	2	-	3

15	封入体筋炎	1	1	3	1	1	1	0
17	多系統萎縮症	25	25	28	14	6	4	4
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	51	52	48	15	14	12	7
19	ライゾーム病	1	1	-	-	-	-	-
21	ミトコンドリア病	2	2	2	-	2	-	-
22	もやもや病	23	21	23	5	7	4	7
23	プリオン病	2	1	1	0	0	0	1
26	HTLV-1 関連脊髄症	4	4	4	2	2	-	-
28	全身性アミロイドーシス	4	6	5	1	2	1	1
30	遠位型ミオパチー	1	1	1	1	-	-	-
34	神経線維腫症	7	6	8	6	2	-	-
35	天疱瘡	8	7	5	2	1	1	1
36	表皮水疱症	1	1	1	1	-	-	-
37	膿疱性乾癬 (汎発型)	3	2	2	1	-	1	-
40	高安動脈炎	14	11	11	4	2	3	2
41	巨細胞性動脈炎	2	2	4	2	-	-	2
42	結節性多発動脈炎	5	4	4	1	1	1	1
43	顕微鏡的多発血管炎	20	23	22	7	5	10	-
44	多発血管炎性肉芽腫症	13	12	11	4	3	2	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	6	9	9	2	4	1	2
46	悪性関節リウマチ	23	26	24	8	8	4	4
47	バージャー病	-	-	1	-	-	1	-
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	-	-	1	1	-	-	-
49	全身性エリテマトーデス	180	180	184	61	61	20	42
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	66	71	71	25	20	11	15

51	全身性強皮症	89	84	81	28	25	10	18
52	混合性結合組織病	31	28	31	12	7	7	5
53	シェーグレン症候群	14	10	11	5	2	2	2
54	成人スチル病	5	5	8	1	4	1	2
55	再発性多発軟骨炎	1	-	-	-	-	-	-
56	ベーチェット病	42	37	36	15	13	2	6
57	特発性拡張型心筋症	39	31	32	12	5	6	9
58	肥大型心筋症	2	2	3	1	2	-	-
60	再生不良性貧血	28	20	24	10	5	4	5
61	自己免疫性溶血性貧血	3	3	3	1	1	-	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1	2	3	1	1	-	1
63	特発性血小板減少性紫斑病	57	58	57	27	13	9	8
65	原発性免疫不全症候群	5	4	5	2	2	-	1
66	IgA腎症	28	32	35	7	18	6	4
67	多発性嚢胞腎	33	37	42	17	11	6	8
68	黄色靱帯骨化症	20	16	19	6	8	3	2
69	後縦靱帯骨化症	109	102	107	29	42	25	11
70	広範脊柱管狭窄症	5	3	5	2	1	-	2
71	特発性大腿骨頭壊死症	51	48	48	25	12	6	5
72	下垂体性ADH分泌異常症	8	9	9	4	1	1	3
73	下垂体性TSH分泌亢進症	3	2	2	-	2	-	-
74	下垂体性PRL分泌亢進症	15	13	11	5	-	2	4
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	14	13	12	3	5	3	1
78	下垂体前葉機能低下症	41	40	40	15	9	3	13
81	先天性副腎皮質酸素欠損症	-	1	1	-	-	1	-
84	サルコイドーシス	36	36	38	22	6	7	3
85	特発性間質性肺炎	26	23	25	11	6	5	3
86	肺動脈性肺高血圧症	6	11	10	4	3	1	2

88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	11	13	9	2	2	2	3
89	リンパ脈管筋腫症	3	3	3	1	1	1	-
90	網膜色素変性症	76	66	66	12	25	15	14
91	バッド・キアリ症候群	2	2	2	-	1	-	1
93	原発性胆汁性胆管炎	54	54	49	21	10	12	6
94	原発性硬化性胆管炎	2	3	4	3	1	-	-
95	自己免疫性肝炎	9	9	12	6	4	-	2
96	クローン病	96	97	100	42	33	10	15
97	潰瘍性大腸炎	280	248	268	118	70	47	33
98	好酸球性消化管疾患	-	1	-	-	-	-	-
107	若年性特発性関節炎	1	2	3	2	-	-	1
113	筋ジストロフィー	4	7	7	1	5	-	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	-	1	1	-	1	-	-
117	脊髄空洞症	2	2	1	-	-	1	-
119	アイザックス症候群	1	1	1	-	1	-	-
127	前頭側頭葉変性症	-	1	1	-	-	1	-
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	-	-	1	1	-	-	-
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	1	1	1	1	-	-	-
145	ウエスト症候群	1	1	1	-	1	-	-
158	結節性硬化症	2	2	1	-	-	-	1
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	8	7	5	2	-	-	3
163	特発性後天性全身性無汗症	-	-	1	-	-	1	-
167	マルファン症候群	1	1	1	-	1	-	-
171	ウィルソン病	-	1	1	-	1	-	-
182	アペール症候群	1	-	-	-	-	-	-

191	ウェルナー症候群	1	1	1	1	-	-	-
203	22q11.2欠失症候群	-	1	1	-	1	-	-
207	総動脈幹遺残症	-	-	2	-	-	-	2
208	修正大血管転位症	1	1	1	-	-	-	1
210	単心室症	1	2	2	1	1	-	-
212	三尖弁閉鎖症	2	1	1	-	1	-	-
215	ファロー四徴症	1	1	2	2	-	-	-
218	アルポート症候群	2	2	3	1	2	-	-
222	一次性ネフローゼ症候群	12	15	19	10	4	2	3
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	3	7	6	-	4	-	2
227	オスラー病	1	1	1	-	-	-	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	-	-	1	1	-	-	-
230	肺胞低換気症候群	1	-	-	-	-	-	-
235	副甲状腺機能低下症	-	1	1	1	-	-	-
240	フェニルケトン尿症	-	1	-	-	-	-	-
252	リジン尿性蛋白不耐症	2	2	2	1	1	-	-
271	強直性脊椎炎	11	11	13	9	1	-	3
276	軟骨無形成症	1	-	-	-	-	-	-
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1	-	-	-	-	-	-
289	クロンカイト・カナダ症候群	-	1	1	-	-	1	-
296	胆道閉鎖症	1	1	1	1	-	-	-
300	I g G 4 関連疾患	1	1	5	2	1	1	1
306	好酸球性副鼻腔炎	7	9	9	9	-	-	-
310	先天異常症候群	1	1	1	-	1	-	-

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表12-(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位:人)

年度	総数	木更津市	君津市	富津市	袖ヶ浦市
平成29年	9	1	7	-	1
平成30年	9	2	6	-	1
令和元年	10	4	6	-	-

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

表12-(4)-ア 在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況 (単位:人)

区分 年度	支援計画 策定 実施件数	支援計画 評価 実施件数	構 成 員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
平成29年度	3	3	1	1	5	-	4	19
平成30年度	1	1	-	-	2	-	1	5
令和元年度	-	-	-	-	-	-	-	-

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表12-(4)-イ-(ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実人員	延人員
平成29年度	2人	37回	9人	37人
平成30年度	1人	25回	6人	25人
令和元年度	2人	30回	8人	30人

(イ) 訪問相談員育成事業

表12-(4)-イ-(イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人数
平成29年度	4月17日	事例検討会	保健師	6人
平成30年度	4月9日	事例検討会 研修会	保健師	6人 44人
	12月26日		保健師、介護支援 専門員	
令和元年度	4月18日	事例検討会	保健師、看護師	6人
	3月26日			6人

ウ 医療相談事業

表12-(4)-ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
【個別】 更新申請に 合わせて18 日間実施	89	君津健康 福祉セン ター	指定難病 患者と 家族	保健師による個別相談	1人
【集団】 令和元年 11月30日	30	君津健康 福祉セン ター	潰瘍性大 腸炎患者 と家族	講演 「潰瘍性大腸炎患者とうま く付き合うために知っておきたい こと」 講師 東邦大学医療センター 佐倉病院 消化器内科 教授 松岡 克義 氏 講演 「食事のとり方のポイント」 講師 ほたるのセントラル内科 管理栄養士 江尻 喜三郎 氏	6人

エ 訪問指導事業

表12-(4)-エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位:件)

疾患名	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数	18	27	32
多発性硬化症	1	1	—
筋萎縮性側索硬化症	13	13	15
皮膚筋炎/多発性筋炎	—	1	—
脊髄小脳変性症	—	1	1
筋ジストロフィー	—	—	1
悪性関節リウマチ	—	1	1
パーキンソン病	2	4	2
多系統萎縮症	1	1	9
網膜色素変性症	—	—	—
ライソゾーム病	1	1	—
顕微鏡的多発血管炎	—	1	—
進行性核上性麻痺	—	2	2
シェーグレン症候群	—	1	1

オ 訪問診療等事業

表 1 2 - (4) - オ 訪問診療等事業実施状況 (単位：人)

区分 年度	指導人数		実施方法	従事者人数					
	実人員	延人員		専門医	主治医	看護師	法 士 等 理 学 療	保健師	その他
平成 29 年度	1	1	コミュニケーションツールの調整	-	-	-	-	-	1
平成 30 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和元年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 訪問リハビリテーションも含む。

カ 窓口相談事業

表 1 2 - (4) - カ 相談内容 (単位：人)

内 容	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
相談者数 (延)	391	599	172
申請等	382	587	135
医療	2	-	2
家庭看護	3	6	17
福祉制度	-	4	4
就業	-	1	5
就学	-	-	-
食事・栄養	-	-	4
歯科	-	-	-
その他	4	1	5

キ 難病対策地域協議会

表 1 2 - (4) - キ 難病対策地域協議会実施状況

実施日	テーマ	構成員 (職種)	延人数	内容
-	-	-	-	-

13 受動喫煙対策

健康増進法により、令和元年7月1日に子供や患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となった。また、令和2年4月1日から多くの人を利用するすべての施設において原則屋内禁煙となった。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等

を行うとともに、指導によって改善が認められない場合等必要に応じて立ち入り検査を実施していく。

表 1 3 - (1) - ア 問合せ・苦情届出状況

区分 年度	件数	内訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和元年度	47	1	44	1	-	1

表 1 3 - (1) - イ 立入検査状況

区分 年度	件数	内訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和元年度	-	-	-	-	-	-

14 市町村支援

管内市の健康づくり推進協議会及び要保護児童対策実務者会議等、広域的な視点から管内市の事業の円滑な推進が図られるように支援を行った。

(1) 市町村への支援状況

表 1 4 - (1) 市町村への支援状況

項目 市町村	会 議 ・ 連 絡				技 術 的 支 援		
	会 議 名	回 数	職 種	主 な テ ー マ	事 業 名	回 数	職 種
木更津市	木更津市健康づくり推進協議会	1回	課	・市の健康課題と第3次健康きさらづ21の進捗状況	—	—	—
	木更津市要保護児童対策地域協議会 代表者会議	1回	次	・木更津市における児童虐待の現状について			
	木更津市要保護児童対策地域協議会 実務者会議	9回	保 精	・要保護児童の処遇検討			
君津市	君津市健康づくり推進協議会	2回	医 次	・「第2次健康きみつ21」中間報告及び計画改定 ・「第2次健康きみつ21」こころの健康（自殺対策の推進）について			

	君津市子どもを守る地域ネットワーク代表者会議	1回	医	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度事業計画（案）について 現状報告 講話及び意見交換会「児童虐待対応の現場の課題について」 	—	—	—
	君津市子どもを守る地域ネットワーク実務者会議	6回	保	<ul style="list-style-type: none"> 要保護児童の処遇検討 			
富津市	富津市健康づくり推進協議会	3回	医次	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業実績について 平成30年度事業について 健康ふっつ21（第二次）中間評価及び見直しについて 			
	富津市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1回	次	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の状況について 富津市子育て支援対応方針の改正について 実務者会議および個別支援会議の報告について 各機関での対応事例等について 	—	—	—
	富津市児童虐待事例にかかわる実務者会議	4回	保	<ul style="list-style-type: none"> 要保護児童の処遇検討 			
袖ヶ浦市	袖ヶ浦市健康づくり推進協議会	1回	医	<ul style="list-style-type: none"> 袖ヶ浦健康プラン21の中間評価概要について 自殺対策計画の概要について 受動喫煙について 			
	袖ヶ浦市児童福祉支援対策地域協議会実務者会議	4回	保	<ul style="list-style-type: none"> 要保護児童の処遇検討 	—	—	—
	袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議	4回	課	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援施策について 子育て応援プランの進捗状況について 子ども・子育て支援に関するニーズ調査について 			

*職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）